

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	石澤由祐
	全体計画						経費区分		-		内線	3415
事務事業名	4165 畜産総合対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	15012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060104 農林水産業費・農業費・畜産振興費										
	事業	010000 畜産総合対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病の発生を防ぐ。 そのさと有機センターのメンテナンスの充実を図り、良質の堆肥を製造する。						ワクチンの普及、自衛防疫体制の整備及び畜産農家の衛生対策の向上等により、家畜伝染病発生の減少に寄与した。 家畜診療所の運営、北信食肉センターの運営に負担金を交付し、畜産振興・食の安全安心に寄与した。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
そのさと有機センター施設設備の点検及び攪拌装置修繕	そのさと有機センター施設設備の点検
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		5,048	4,655
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		5,048	4,655
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,787.2	2,787.2
	嘱託職員	629.8	629.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,417.0	3,417.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		8,465.0	8,072.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,614	消耗品141 修繕料2,473
12節 委託費	158	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,824	負担金1,824
その他	452	土地借上料452

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	955	消耗品 155 修繕料 800
12節 委託費	1,309	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,938	負担金 1,938
その他	453	土地借上料 453

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	畜産農家の規模は縮小しており、それに伴う事業のスリム化を図る必要がある。野生イノシシや野鳥による家畜伝染病の懸念もあることから、防疫体制については継続した取り組みが必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	そのさと有機センターの経年劣化による修繕箇所が複数確認されている。同施設の今後の展望について、JAながのと協議していく必要がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	防疫組織の事業の合理化を図っている。縮小傾向にある須坂市畜産業の動向を見極め、効率化できる部分と廃止する部分を洗い出す必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

畜産農家の規模は縮小しているが、畜産農家がある以上必要不可欠な事業である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

畜産農家支援を図る上で重要

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

家畜伝染病の防止や公害防止に有効な事業である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント